

川口市立科学館運営審議会委員名簿

任期：令和 7 年 7 月 1 日から令和 9 年 6 月 3 0 日まで

区 分	氏 名	所 属 先 等
知識経験者	渡 邊 鉄 哉	国立天文台 名誉教授
	星 野 恒 治	並木 2 丁目町会 顧問
	小 松 和 人	(株)こまむぐ 代表取締役
学校教育関係者	高 橋 宣 光	学校法人光和学園 みつわ幼稚園 園長
	河 口 典 久	川口市立幸町小学校 校長
	功 刀 幸 代	川口市立戸塚西中学校 校長
	吉 岡 靖 久	川口市立高等学校 政策アドバイザー
社会教育関係者	永 瀬 友美子	市民公募
	小 石 雄 一	上青木地区連合町会長
	田 實 俊 昭	川口市子ども会連絡協議会 副会長
	郡 豊	川口市立芝園学園中学校陽春分校 教諭

第 6 次
川口市総合計画

Industry
Culture
Nature

産業と文化と自然が調和した 輝きあふれるまち 川口

2026 ▶▶▶▶▶ 2035

3

基本理念

本市では、「市民とともに輝くまちづくり」、「みんなの笑顔輝くまちづくり」、「いつまでも輝き続けるまちづくり」を総合計画における基本理念とします。

この基本理念は、これからのまちづくりの根幹となる考え方です。

協働に関する理念

市民とともに輝くまちづくり

市民は市政の主人公であり、お互いを尊重し合い、人と人との相互のつながりを大切にしながら、市民自らの手で自らのまちをつくっていきます。

行政は、市民と力を合わせ、また企業なども含めたさまざまな主体の強みを活かしながら、まちの魅力をさらに磨き、市民とともに輝くまちづくりを推進します。

市民の幸せに関する理念

みんなの笑顔輝くまちづくり

市民の多様な価値観、ニーズ、ライフスタイルが尊重され、豊かな個性が育まれる地域社会を築くことによって、市民の誰もが心豊かに、幸せに暮らすことができるまちをめざします。こどもからお年寄りまで、市民一人ひとりの笑顔が輝き、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。

社会の持続性に関する理念

いつまでも輝き続けるまちづくり

少子高齢化などの社会情勢を踏まえ、長期的な視点に立ったまちづくりを推進します。限りある資源を有効に活用しながら地域社会の発展を図り、すべての人が安心して暮らせる環境を整備し、笑顔がいつまでも輝き続ける、持続可能でより良い社会の実現をめざします。

4

めざすまちの姿

① 将来都市像

産業と文化と自然が調和した 輝きあふれるまち 川口

本市は「ものづくりのまち」として発展してきた歴史があり、現代においても多様な産業活動が市勢の原動力となっています。また、宿場町として栄えた歴史を伝える建造物が残るほか、新たな文化芸術拠点の整備が進み、豊かな文化芸術環境が整っています。さらに、都心近郊に位置するアクセスの良い立地ながら、水辺空

間や緑地空間などの自然に触れることができ、住みやすいまちとしての認知も広がっています。

こうした「産業」と「文化」と「自然」を調和させ、本市ならではの活力と豊かさと安らぎに満ちた環境で、すべての人が生き生きと活躍し、未来を創造していく、輝きあふれるまちをめざします。

② めざす姿

将来都市像を実現するため、基本理念に則り、以下の8つの「めざす姿」を定めます。

めざす姿Ⅰ

健康で、自分らしく生き生きと暮らせるまち

健康に対する市民ニーズがより高くなっているほか、少子高齢化や核家族化といった家族形態の変化、ライフスタイルの多様化などの社会情勢の変化に伴い、福祉に対するニーズも高度化・複雑化しています。これらのニーズに対応するためには、市民・地域・行政がそれぞれの役割を担いながら一体となり、包括的で一貫した支援体制を整備することが必要です。こうした体制の下で、医療体制の充実、感染症対策の強化、市民の心身の健康維持と社会参加への支援を行うことで、すべての人が健康で、自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちをめざします。

めざす姿Ⅱ

誰もがお互いを認め合い、安心して暮らせるまち

多様化が進む現代社会において、すべての人が安心して暮らせるまちづくりが求められています。その実現のために、お互いを認め合う環境づくりを進めるとともに、町会・自治会などの地域に根ざしたつながりや、市民の自主的なコミュニティ活動をまちづくりに活かします。また、激甚化する災害などに備え、人々の日々の安全を守るために、防災や防犯、救急体制の充実を図り、自助・共助・公助によって、安心して暮らせるまちをめざします。

めざす姿Ⅲ

子どもをみんなで育み、子どもが輝き活躍するまち

本市が活力にあふれる持続可能な地域であり続けるためには、子どもたちが充実した養育環境・教育環境の下で健やかに成長し、大人になっても本市に愛着を持って住み続け、次世代の地域社会の担い手となるような環境整備が重要です。こうした世代をつなぐ好循環を維持していくために、市民、地域、行政が一体となって子どもの成長をサポートし、どのような環境にある子どもにも豊かな学びの機会を確保するとともに、安心して子どもを生み育てることができるまちをめざします。

めざす姿Ⅳ

学びとスポーツ・文化に親しみ、自己実現ができるまち

生涯学習やスポーツ、文化芸術を通じて、学び、活動することは、こころとからだの健康維持・増進をもたらすし、精神的・肉体的・社会的に良好な状態(Well-Being:ウェルビーイング)の向上につながります。

本市が有するさまざまな学びの施設やスポーツの拠点、文化芸術の創造拠点を活用しながら、ライフステージや障害の有無、文化的背景にかかわらず誰もが心豊かに自己実現できるまちをめざします。

めざす姿 V

にぎわいと魅力があり、伝統と未来が響き合うまち

少子高齢化による産業の担い手・後継者不足や、エネルギー・資材価格の高騰など、経済情勢が変化する中、DXによる業務効率化や生産性向上などによる企業の成長基盤の強化を支援する体制が重要です。また、次世代への技術の伝承とさらなる革新によって、より良いモノやサービスを社会に送り出していく本市の産業の力強さを発揮して、伝統と未来が響き合い、新たな魅力とにぎわいが生まれるまちをめざします。

めざす姿 VI

都市と自然が調和した、うるおいとやすらぎのあるまち

本市にある多くの緑地や水辺空間と、そこに育まれた豊かな自然を将来の世代にも引き継げるように保全します。また、清潔で快適な都市生活を送ることができるような環境の整備や、自然と触れ合えるような緑地や水辺空間の整備を進め、うるおいとやすらぎのあるまちをめざします。

めざす姿 VII

誰もが安全で快適に暮らせるまち

市内全域での交通ネットワークの整備や土地区画整理事業の推進、バリアフリー化を中心とした交通環境の利便性の向上や、ウォーカブルなまちづくりによる便利で快適な都市空間の形成を図ります。また、安全・安心な上下水道サービスの提供などのインフラ整備を進め、災害に強く、誰もが安心して過ごせるまちをめざします。

めざす姿 VIII

持続可能で自立したまち

これまでに掲げた7つのめざす姿を実現するためには、持続可能で自律的な行財政体制のもとで、多様な主体と連携しながら計画的な行政運営を行う必要があります。そのために、財政基盤の健全化やDXの推進、人材の確保・育成と適正配置などの体制整備を一層促進します。

また、多様化する市民ニーズに対応し、公共施設の規模・機能の最適化や、行政サービスに対する受益者負担の適正化など、不断の行政改革に取り組み、官民連携による民間活力も取り入れながら、安定した行財政基盤の維持・改善をめざします。

施策1

生涯学習・スポーツができる環境づくり

施策の目標

誰もが生涯学習やスポーツに親しめる環境づくりを通じて、一人ひとりの個性や魅力を伸ばし、自己実現を図ります。

施策の概要

・多様なニーズに応え、時代に沿った情報発信や学習・スポーツの機会を提供することで市民が自己実現を図ることができるよう、公民館・図書館・科学館・スポーツ施設がそれぞれの機能を活かして、事業を推進します。

単位施策名	現状・課題	単位施策の目標
① 生涯を通じて 学び続けられる 環境の充実	●公民館等(※)では、多様化する市民ニーズに対応し、利用しやすい施設の維持運営や生涯学習のすそ野を広げるための環境整備のほか、さまざまな学びの推進や、市民が主体的に学び地域に還元できる仕組みづくりを強化する必要があります。 ※公民館、中央ふれあい館、生涯学習プラザ ●図書館では時代に沿ったさまざまな形態による図書館資料の収集、保存を推進するほか、多様なニーズに応えるための情報発信や情報提供を強化する必要があります。 ●科学館では、ライフステージの変化や生涯学習のニーズの多様化に合わせて、事業を推進していますが、開館から年数が経過し、施設の経年劣化が進んでいることから、中長期的な設備更新が必要です。	●公民館等の環境を整えることで、さまざまな世代が交流しながら学び続け、学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の実現をめざします。 ●図書館では、誰もがいつでも必要な図書館資料を閲覧でき、図書館からの情報を享受し、サービスを利用できるよう生涯学習環境の充実を図り、市民一人ひとりの自己実現に寄与することをめざします。 ●科学館では、参加体験型施設としてあらゆる世代が生涯にわたり科学への興味、関心を持ち続けられるよう、科学に親しむ心の育成を図ります。その実現に向けて、時代に即し新たな技術を取り入れた設備の更新を進め、魅力ある科学館をめざします。
② 目的に応じて スポーツ・レクリエーション 活動に親しめる 環境の充実	●これまで多くのスポーツ施設を整備・運営し、誰もが身近にスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりに努めるとともに、地域コミュニティの醸成に寄与してきました。 ●多くのスポーツ施設が開設から40年以上経過しており、持続可能な施設運営に向けた取り組みが必要です。 ●オリンピック、パラリンピックなど注目を集める大会が開催されることにより、スポーツへの関心が高まるとともに、高齢化の進展や働き方及び生活様式の変化により健康意識が高まり、スポーツの重要性が認識されています。	●スポーツ施設の充実やスポーツをする機会の提供により、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、誰もが健康増進や体力向上、競技力向上など、それぞれの目的に応じてスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、自己実現を図ることをめざします。

■生涯学習施設(公民館等・図書館・科学館)の利用者数の推移



■スポーツ施設の利用者数の推移



対応する主な
SDGsのゴール



目標指標

	基準値	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]	32.9(R7)	基準値を上回る	R12実績値を上回る
生涯学習施設(公民館等・図書館・科学館)の利用者数 [人]	3,150,496(R6)	基準値を上回る	R12実績値を上回る
スポーツ施設の利用者数 [人]	1,899,623(R6)	基準値を上回る	R12実績値を上回る

主な取り組み

- さまざまな学習ニーズを踏まえた利用しやすい公民館等の環境を整備するとともに、オンライン講座の充実など多様な講座を提供することにより、若年層や現役世代も含めた幅広い年齢層の公民館等利用の促進に努めます。
- 身近な生活に関わる課題や市民ニーズに合わせた多種多様な講座などを公民館等において実施するとともに、相互に学び合う場の提供や、地域人材の発掘・活用を進めます。
- 計画的な図書の収集に努め、紙やマイクロフィルムの経年劣化を考慮し、最適な方法での図書館資料の保存に取り組みます。
- さまざまな形態での情報発信により、レファレンスなどの図書館サービスを利用できる機会を提供します。
- 世代を超えて科学の楽しさを発見できる企画や講座等を科学館において充実させ、科学の魅力を伝えます。また、学校や地域と連携し、児童生徒の研究・発表の場としての活用を推進します。
- 科学館施設全体の安全性と質の向上をめざし、計画的かつ包括的な改修を実施します。

- スポーツ団体と連携し、スポーツ教室、スポーツイベント、レクリエーション活動など、運動を経験できる機会を提供します。
- スポーツ団体への支援を通じ、選手の競技力向上及びスポーツを支える人材の確保・育成を推進します。
- 計画的な改修により施設の長寿命化や安全性・機能の向上を図るとともに、施設の更新等の際には統合・再編などを含めた施設の適正化に取り組みます。
- 埼玉県屋内50m水泳場の整備に合わせた北スポーツセンターの建替えを含む、(仮称)神根総合運動公園の整備を進め、新たなスポーツ及び交流の拠点として活用します。



公民館園芸講座



中央図書館雑誌コーナー



科学館サイエンスショー



川口マラソン大会

■関連する個別計画

- 川口市教育大綱
- 川口市教育振興基本計画
- 川口市子ども読書活動推進計画

川口市 教育振興 基本計画

令和8年度 >>> 令和12年度

令和8年4月
川口市教育委員会

施策体系

基本理念

未来を創造する人材を育て、すべての人が輝く 川口教育

基本目標		施策
I すべてのこどもが 学べる多様な 環境づくり	こども一人ひとりの特性や能力に寄り添い、誰一人取り残さない多様な学びの環境を整備し、持続的に発展する社会の創り手となる、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。	1 幼稚園・小学校・ 中学校教育の充実
		2 高等学校教育の充実
II こどもの成長を サポートする 基盤づくり	学校・家庭・地域と行政が相互に補完・連携し、併せて教育的資源を活用することで、こどものさまざまな社会経験の場や活動の場を増やします。 さらに地域ぐるみの安全体制を整備し、こどもの成長をサポートする基盤強化をめざします。	3 教育力向上のための 体制づくり
		4 誰もが適切な教育を 受けられる環境の充実
		5 教育的資源の活用
III 生涯学習・ スポーツができる 環境づくり	誰もが生涯学習やスポーツに親しめる環境づくりを通じて、一人ひとりの個性や魅力を伸ばし、自己実現を図ります。	6 生涯を通じて学び続けられる 環境の充実
		7 目的に応じてスポーツ・ レクリエーション活動に 親しめる環境の充実
IV 歴史の継承と 文化芸術の発信	指定文化財をはじめとした歴史的資源の保存と活用や、誰もが身近に文化芸術に接し活動する環境づくりを行うことで、歴史、文化、芸術をすべての人が学び、楽しみ、心豊かな生活の実現をめざします。	8 歴史的資源の保存と活用
		9 文化芸術の発信
V 教育行政経営の 基盤強化	少子高齢化に伴う人口減少や、社会構造の変化を見据えた学校施設の適正規模・適正配置と、教育関連施設の集約化を含めた適切な整備に取り組めます。 また、安全・安心な教育環境の整備や効率的な管理・運営を行うことにより、教育行政経営の基盤強化を図り、良好な教育環境のもとで総合的な教育の発展をめざします。	10 教育施設の適正化

推進の方針	推進の柱
幼児教育の充実	ア 幼児教育の推進
確かな学力と自立する力の育成を図る 義務教育の充実	ア 一人ひとりを確実に伸ばす教育の推進
	イ 新しい時代に求められる資質・能力の育成
	ウ グローバル化に対応する教育の推進
	エ 技術革新や時代の変化に対応する教育の推進
	オ 主体的に社会の形成に参画する力の育成
	カ 特別支援教育の充実
	キ 一人ひとりの状況に応じた支援
豊かな心と健やかな体の育成を図る 義務教育の充実	ア 豊かな心を育む教育の充実
	イ 生徒指導の充実
	ウ 人権を尊重した教育の推進
	エ 健康の保持・増進
	オ 体力の向上と学校体育活動の充実
高等学校教育の推進	ア 魅力ある高等学校づくり
	イ 中高一貫教育推進に向けた特色ある附属中学校づくり
質の高い学校教育を推進するための 環境の充実	ア 特色のある学校づくりの推進
	イ 教職員の資質・能力の向上
	ウ 学校組織運営の改善と働きがいのある職場づくり
	エ こどもたちの安全・安心の確保
	オ いじめ防止対策の推進
	カ 不登校児童生徒への支援
	キ 教育相談の充実
	ク 夜間中学の充実
地域の教育力・健全育成活動の充実	ア 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
	イ 青少年の健全育成
	ウ 地域クラブ活動（文化芸術・スポーツ活動）の推進
教育的資源の活用	ア 教育的資源の活用
学び合い共に支える社会をめざす 生涯学習の推進	ア 多様な生涯学習活動の推進
	イ ネットワーク機能を活用した図書館サービスの充実
	ウ 新たな発見と学びのある科学館事業の推進
目的に応じてスポーツ・レクリエーション活動に 親しめる環境の充実	ア スポーツ・レクリエーション活動の推進
	イ スポーツ団体の活動支援
歴史的資源の保存と活用	ア 文化財の調査・収集・保存
	イ 文化財の活用
	ウ 伝統文化の保護と継承に関わる支援
	エ 古文書・写真等資料の保存と活用
文化芸術の発信	ア 文化芸術活動の支援
	イ 文化芸術拠点の活用
教育施設の適正な環境整備・充実	ア 小中学校の適正規模・適正配置
	イ 学校施設の整備・充実
	ウ 社会教育施設の整備・充実
	エ スポーツ施設の整備・充実

ウ 新たな発見と学びのある科学館事業の推進

■ 現状と課題 ■

技術革新の更なる進展により、社会や暮らしが大きく変化している中、私たちは日常的に科学を利用し、生活を便利で豊かなものにしています。

児童生徒の理科への興味・関心は高いものの、大人になると疑問を持ち、探求しようとする機会は減る傾向にあります。生涯にわたり科学に親しむ心を育てるには、こどもの時から観察することや豊かな体験を通して科学的な現象への興味・関心を高められるように、主体的な学びを促進する必要があります。

また、科学館事業においては、理科教育の充実のために、関係機関との連携や小・中・高校・大学との博学連携を推進することで、科学館が有する機能を十分に活用することが求められています。

■ 施策の方向性 ■

- ◆科学に触れる場と機会を提供し、生涯にわたり科学に親しむ心を育成します。
- ◆あらゆる世代が生涯にわたり科学への興味・関心を引く専門性の高い事業やワークショップ開催の充実を図ります。
- ◆博学連携による学校教育活動等の充実を推進します。



市立高校理数科観測会



科学出張教室

■ 主な取り組み ■

1 科学に対する理解の深化、普及・啓発の推進

- 科学館は、科学展示室・プラネタリウム・天文台の3つの施設を生かし、市民が生涯にわたり主体的に科学の楽しさを発見できる機会を提供します。また、施設の経年劣化に対応し、安全性と質の向上をめざし、設備の計画的かつ包括的な改修を行います。
- 科学的なものの見方や考え方を深化させるため、専門的な情報や資料の収集・提供や SNS を用いた短尺コンテンツの発信等、メディアツールを活用した情報、動画教材の発信を推進します。

2 特色ある事業・ワークショップ開催の充実

- 研究機関や博物館、企業等関係機関との連携・協力を図り、あらゆる世代が科学に触れ、新たな発見と学びを楽しむことができる特色あるワークショップや講演会等の企画・開催を推進します。
- 利用者の知的好奇心や年齢構成等に対応する事業の改善や開発、また、生涯学習のニーズに特化したワークショップの企画・開催を推進します。

3 博学連携による学校教育活動等の充実

- 社会情勢や学習指導要領に則した内容の事業を積極的に展開し、児童生徒の科学への興味・関心の向上及び科学的なものの見方や考え方の育成に努め、学校教育の一環としての取り組みを推進します。
- 学校や地域と連携のもと、科学館職員の専門性を生かした実験の演示・天文観測等の館外事業や、理科担当教員対象の指導、教員向けの講座等を実施し、学校における理科教育への支援の充実に努めます。
- 科学館を児童生徒の調査・研究・発表の場として活用し、科学を通じたコミュニケーション能力の向上や、理科教育の普及活動を推進します。

第3編 計画推進にあたって

基本目標Ⅲ 生涯学習・スポーツができる環境づくり

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
生涯学習施設の年間利用者数 ※南平文化会館を除く	市内公民館及び専門施設の年間利用者数。 今日的課題や市民ニーズに合わせた学習機会の提供とその成果を示すものとしてこの指標を選定した。	公民館の建替えによる閉館や人口減少等により、今後、利用者数の減少が見込まれるが、市民ニーズの把握に努め、幅広い年齢層の公民館の利用促進等で、現状値を上回る利用者数をめざし、目標値を設定した。	1,583,258人	現状値を上回る	86
公民館及び専門施設の年間講座参加者数	市内公民館及び専門施設主催の年間講座参加者数。 今日的課題や市民ニーズに合わせた学習機会の提供とその成果を示すものとしてこの指標を選定した。	公民館の建替えによる閉館や人口減少等により、今後、講座参加者数の減少が見込まれるが、市民ニーズの把握に努め、オンライン講座の充実等、多様な講座の提供等で、現状値を上回る講座参加者数をめざし、目標値を設定した。	112,278人	現状値を上回る	86
図書館年間利用者数	図書館資料貸出数で捉えると閲覧等の場合数値に含まれないため、利用者数とした。	令和2～6年度の利用者数の推移は新型コロナウイルス感染症防止対策や施設改修に伴う部分閉館等により減少しているため、これらの影響がない令和5年度の実績値(令和7年度末に閉室した芝園分室を除く)を目標値とした。	1,337,968人	1,506,343人	88
科学館の年間利用者数	科学館における科学展示事業・天文台事業・プラネタリウム事業の参加者数、科学出張教室・太陽観測出張授業・夜間出張観望会等の館外事業参加者数。科学への市民の興味・関心を引く事業の充実や、博学連携をめざした理科教育への支援の成果を示すものとして、この指標を選定した。	今後、人口減少による利用者数の減少が見込まれるが、利用者ニーズの把握や新たな学びの機会の提供に努めることで、現状値を上回る利用者数をめざし、目標値を設定した。	229,270人	現状値を上回る	90
スポーツ施設の年間利用者数	市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識が高まっており、スポーツ活性化を促進し、健康・体力づくりやスポーツ人口の拡大を示すものとして、この指標を選定した。	人口減少等により施設利用者数の減少が見込まれることから、今後の見通しは困難であるが、社会環境の変化や利用者ニーズに応え、誰もがそれぞれの目的に応じてスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりをめざし、現状値を上回ることを目標とした。	1,899,623人	現状値を上回る	92

① 令和7年度入館者数及び使用料等実績

ア. 入館者数

単位:人

年 度	開館日数	科学展示	プラネタリウム	天文台	計
令和3年度	280	55,031	25,962	660	81,653
令和4年度	274	77,408	39,488	1,776	118,672
令和5年度	276	76,756	37,723	1,488	115,967
令和6年度	280	79,279	33,809	1,506	114,594
令和7年度	281	91,673	37,582	1,521	130,776
	大人	37,242	17,193	816	55,251
	小人	39,221	17,406	590	57,217
	未就学児	15,210	2,983	115	18,308

イ. 使用料

単位:円

年 度	科学展示	プラネタリウム	鉄道模型	計
令和3年度	5,405,200	5,159,300	715,200	11,279,700
令和4年度	7,175,650	8,161,250	896,500	16,233,400
令和5年度	7,666,370	8,102,680	909,200	16,678,250
令和6年度	7,741,050	6,976,380	908,800	15,626,230
令和7年度	9,150,820	8,178,070	1,012,300	18,341,190

ウ. 年間券発売状況

単位:人

種別	科学展示室入場券		プラネタリウム観覧券		計
	一般	小中学生	一般	中学生以下	
令和3年度	238	157	123	76	594
令和4年度	277	197	180	124	778
令和5年度	262	189	176	106	733
令和6年度	233	182	153	80	648
令和7年度	298	221	197	111	827

エ. 年間利用者数

単位:人

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	189,916	191,816	193,734	195,671	197,628
結果	139,964	208,301	223,321	229,270	257,053

②科学展示室の主な事業

ア. サイエンスショー

- ・ 実施日時 日曜日・祝日 14時・15時
- ・ 場所 サイエンスステージ
- ・ 対象 入場者
- ・ 費用 無料(入場料のみ)
- ・ 実施者 科学館職員、外部講師、インストラクター

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	111	120	102
参加人数	5,523	5,613	5,213

身の回りにある現象を科学的な原理を交えながら考え、体験できる科学実験ショー。
定期事業である「サイエンスショー」は、特別イベント実施回数の増などにより、令和7年度の実施回数と参加人数が減となった。

イ. わくわくワーク

- ・ 実施日時 土曜日 10時30分・13時
※春・夏・冬休みの火曜日・木曜日・土曜日
10時30分・13時・14時30分
- ・ 場所 ワークゾーン他
- ・ 対象 入場者(ただし、未就学児童は保護者同伴)
- ・ 費用 無料(入場料のみ)
- ・ 実施者 科学館職員、インストラクター

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	154	158	147
参加人数	4,483	3,785	4,391

身近な材料を使って科学的なもののづくりを楽しめる工作教室。
定期事業である「わくわくワーク」は、特別イベント実施回数の増などにより、令和7年度の実施回数は減となったが、参加人数は増となった。2月・3月を企業連携事業のスタートアップ期間として、毎週実施したことなどが要因として考えられる。

ウ. 科学ものづくり教室

- ・ 実施回数 43回
- ・ 場所 ワークゾーン他
- ・ 参加人数 1,356人
- ・ 実施者 外部講師、科学館職員

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	32	32	43
参加人数	851	1,067	1,356

※回数は実施回数

たくさんの外部講師を招いて実施した。主な内容として「プログラミング」「ロボット」(クランク機構を使ったスピード感のある走行を目指すもの)「木工工作」「メカモグラ」(水道管内を移動するラジコン型ロボット)「電気工作」(回路を伴った工作)となっている。
令和7年度は実施回数、参加人数ともに増となった。

③特別展事業

ア. 特別展「文房具～それは「書く」「描く」「消す」を支える科学のチカラ～」

- ・ 期間 令和7年6月7日(土)～7月13日(日) 開催日数 30日間
- ・ 入場者数 12,121人

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
テーマ	チョコレート	スポーツ	文房具
来館者数	8,281	10,991	12,121

テーマの設定から体験(ハンズオン)を含めた展示まで職員が作成している。そのため、工夫を凝らして自由に企画することができることがメリットである。
 テーマについては、新規の来館者を獲得するため、一見科学とは無関係そうなテーマであっても科学的な要素を関連させることで来館者の科学的な知識や思考を促す展示とすることを目指した。

イ. サイエンスまつり「ぼくらの理科室 科学館！」

- ・ 期間 令和7年11月1日(土)～11月30日(日) 開催日数 25日間
- ・ 入場者数 9,409人
- ・ 内容
 - 【特設コーナー】
 - 「ぼくらの科学展」
 - 「ぼくらの科学展」ワークショップ、ステージ発表
 - 【開催イベント】
 - 11月 1日、 8日 科学ものづくり教室「かけ抜ける！スプリンターロボ！」
 - 11月14日 わくわく屋台村
 - 11月24日 いきいきサイエンス「透明ジェルキャンドルづくり」
 - 11月29日 科学ものづくり教室「木工 スライド式ブックスタンド」

ウ. 特別展「シン・忍者展ー忍術を科学で学べ！ー」

- ・ 期間 令和7年12月13日(土)～令和7年2月8日(日) 開催日数44日間
- ・ 入場者数 14,275人

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
テーマ	錯覚	科学の発展	忍者
来館者数	14,836	12,602	14,275

毎年、プロポーザル方式で7月中旬頃にテーマ等を決定している。幅広い年齢層の方に来館してもらえるようテーマも広く設定し、プロポーザルを行っている。
 令和7年度は「忍者」を科学で深めていく視点が好評であった。一見すると関係が薄そうなテーマであってもしっかりと科学の視点で解説してあることでたくさんの来館につながったと考えている。
 忍者関連の活動をされている方からのご挨拶や視察があった。
 今後も、常に新しい発見があり、新しい取り組みに挑戦しながら、体験的な特別展となるようテーマ選定を行っていく。

④天文台事業

ア. 夜間観測会

- ・ 実施日時 第2・第4土曜日の日没後
1日2回開催 1回約30分
- ・ 対象 一般(事前申込者)
- ・ 費用 無料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
日数	13	14	15
回数	26	28	30
参加人数	568	612	655

主天文台の65cm反射望遠鏡と副天文台の20cm屈折望遠鏡を用いて、当日見ることができる天体を観測する。曇り、雨、強風等の天候不良時は中止。

イ. 天文台ガイドツアー

- ・ 実施日時 土曜日
10時45分～11時15分
- ・ 対象 科学展示室入場者
- ・ 費用 無料(科学展示入場料のみ)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	41	46	37
参加人数	278	312	225

副天文台での太陽観測を中心に3つの天文台を見学する。雨、強風等の天候不良時は中止。令和7年度は天候不良による中止が増えたことから、参加人数が減となった。

ウ. 天文台特別ガイドツアー

- ・ 実施日時 無料公開日 13時～14時
- ・ 対象 一般
- ・ 費用 無料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	2	2	2
参加人数	195	167	193

開館記念日(5月3日)、埼玉県民の日(11月14日)などの無料公開日に実施。副天文台での太陽観測を中心に3つの天文台を見学する。雨、強風等の天候不良時は中止。

エ. 特別観測会

- ・ 実施日時 天文現象等に合わせ実施
- ・ 対象 一般(事前申込者)
- ・ 費用 無料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	3	2	1
参加人数	272	257	125

話題の天文現象などに合わせて天体を観測する。曇り、雨、強風等の天候不良時は中止。令和7年度は3回の特別観測会を企画したが、天候不良のため実施は1回となったことから、参加人数が減となった。

オ. 天文教室・観測実習・学習利用

- ・ 実施日時 夏休み期間等
- ・ 実施者 科学館職員・外部講師
- ・ 費用 無料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	8	7	9
参加人数	162	147	220

天文台を活用した天文教室・観測実習などの実施及び学習利用。令和7年度は学習利用が増えたことから、参加人数が増となった。

カ. 太陽観測出張授業・夜間出張観望会

- ・ 対象 市内小・中学生等
- ・ 実施者 科学館職員
- ・ 費用 無料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	7	8	7
参加人数	618	629	504

学校へ出向き、小型望遠鏡を用いて太陽観測授業を実施するほか、学校や公民館の希望に応じ、夜間観望会を実施。令和7年度は太陽観測出張授業の依頼が減ったことなどから、参加人数が減となった。

キ. 太陽・天体画像の配信

- ・ 天文台特別ライブ配信 回数及びアクセス数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	2	1	2
アクセス数	807	991	10,898

太陽や話題の天文現象などに合わせ、観測画像を科学館ホームページにリアルタイムに配信する。令和7年度の特別ライブ配信は「皆既月食」を配信したため、アクセス数が大幅に増となった。また、太陽望遠鏡で観測した画像については、科学展示室の太陽情報ライブモニター、情報端末でも閲覧を可能としている。

⑤プラネタリウム事業

ア. 一般投影

- ・ 実施日時 土曜日・日曜日・祝日、夏・冬・春休みの火～金曜日
11時30分・13時30分・15時30分 上記以外の木曜日 15時30分

・ 投影時間	約50分間		令和5年度	令和6年度	令和7年度
・ 費用	プラネタリウム観覧料	回数	453	459	461
		観覧人数	24,012	20,182	23,850

当日の星空や天文トピックスの生解説と、季節ごとに変わる映像番組を組み合わせた投影を実施。

イ. キッズアワー

- ・ 実施日時 日曜日・祝日 10時
- ・ 投影時間 約30分間
- ・ 費用 プラネタリウム観覧料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	63	64	65
観覧人数	2,497	2,426	2,672

季節の星座などをテーマとして、当日の星空やテーマにそった内容を子ども(小学校低学年)向けに解説する投影を実施。

ウ. 無料公開

- ・ 実施日時 無料公開日
10時～16時30分
- ・ 費用 無料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	10	10	10
観覧人数	1,539	1,438	1,416

開館記念日(5月3日)、埼玉県民の日(11月14日)などの無料公開日に実施。投影は基本的に各日5回、1回約30分。星空の解説やこれまで制作された映像番組の投影を実施。

エ. 星空リラクゼーション

- ・ 実施日時 11月・3月の土日(不定期)
15時30分～
- ・ 費用 プラネタリウム観覧料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	4	3	4
観覧人数	342	311	377

星空と音楽でおくる大人向けの特別投影を実施。

オ. 特別投影

- ・ 実施日時 7月・12月の土日(不定期)
15時30分～
- ・ 費用 プラネタリウム観覧料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	4	5	4
観覧人数	507	568	527

七夕やクリスマスなど、季節にちなんだテーマに関連した星空や物語などの解説をする投影。一般向けとこども向けをそれぞれ実施。

カ. 学習投影

- ・ 対象 小・中学生、幼稚・保育園児等
- ・ 費用 プラネタリウム観覧料
(市内学校等は無料)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	118	113	116
観覧人数	8,610	8,699	8,228

市内小・中学生には、学校授業の一環として、学習指導要領に基づく内容を基本とした投影を実施(約50分)。その他の学校には、星空解説と映像番組を中心に投影を実施(約50分)。幼稚園・保育園児には、年齢に対応した解説及び映像番組投影を実施(約30分)。

キ. おもいやりプラネタリウム

- ・ 実施日時 6月・9月・1月・3月(不定期)
15時30分～
- ・ 費用 プラネタリウム観覧料

	令和6年度	令和7年度
回数	1	4
観覧人数	17	301

観覧中の音や声を気にせず楽しめるプラネタリウムとして、令和6年度は試行的に実施。番組内容は一般投影と同様。令和7年度はこれまでの試行から新規事業とし、実施回数も増えたことから、参加人数も増となった。

ク. 天文講演会

- ・ 実施日時 令和8年2月23日(月・祝)
15時30分～16時45分
- ・ 費用 プラネタリウム観覧料

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	1	1	1
参加人数	140	114	120

天文に関する有識者を講師として招聘し、プラネタリウムを会場とした講演会を実施。

ケ. その他の投影(研修等)

- ・ 実施日時 随時

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	2	2	5
観覧人数	46	47	68

研修・視察・会議やイベントなどに関連して、星空の生解説や映像番組の投影を実施。

プラネタリウム全天周デジタル映像装置改修について

1 業務委託契約先 コニカミノルタプラネタリウム（株）

2 履行期間 令和8年4月1日～令和9年3月19日

※科学館内での作業期間（予定） 令和9年1月4日～3月19日

3 改修内容

- （1）全天周映像制御・描画システムの更新
- （2）プロジェクターの更新（光源：レーザーダイオード）
- （3）光学式プラネタリウムとの連動調整
- （4）その他、既存コンテンツの移行やショートピース動画の導入等

4 契約金額 69,850,000円

5 新映像装置稼働日 令和9年3月20日（土）